

ナショナル・レジリエンス(防災・減災)懇談会

「NPO等による被災者支援」

【今日のお話】

- ・NPO等による支援事例
- ・調整の役割を担う「中間支援組織」
- ・繰り返される課題

災害支援の文化を創造する



名称：特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

英名：Japan Voluntary Organizations Active in Disaster

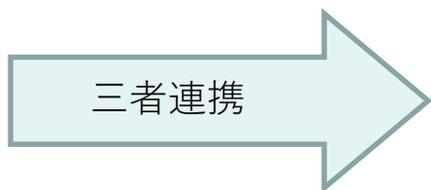
略称：JVOAD（ジェイボアード）

ミッション① 災害時

災害時に支援のモレ・ムラを無くす
コーディネーション（調整）を行う

ミッション② 平時

コーディネーション（調整）の基に支援が行われるための**環境を整備**する



※行政、社協、NPO等と連携し、目標を達成

【国際基準の順守】

災害救援における国際赤十字・NGOのための行動規範「緊急援助活動は、適切な調整の下に行われることに高い優先度を置く」

【災害支援】

全ての被災者に支援のアクセスが確保される
避難生活時の安心・安全が守られる
被災者の心と体の健康が守られる
ジェンダーに配慮された支援が行われる
障害者、高齢者、子ども、生活困窮者、外国人などへ支援が届けられる
被災者の生活が再建される

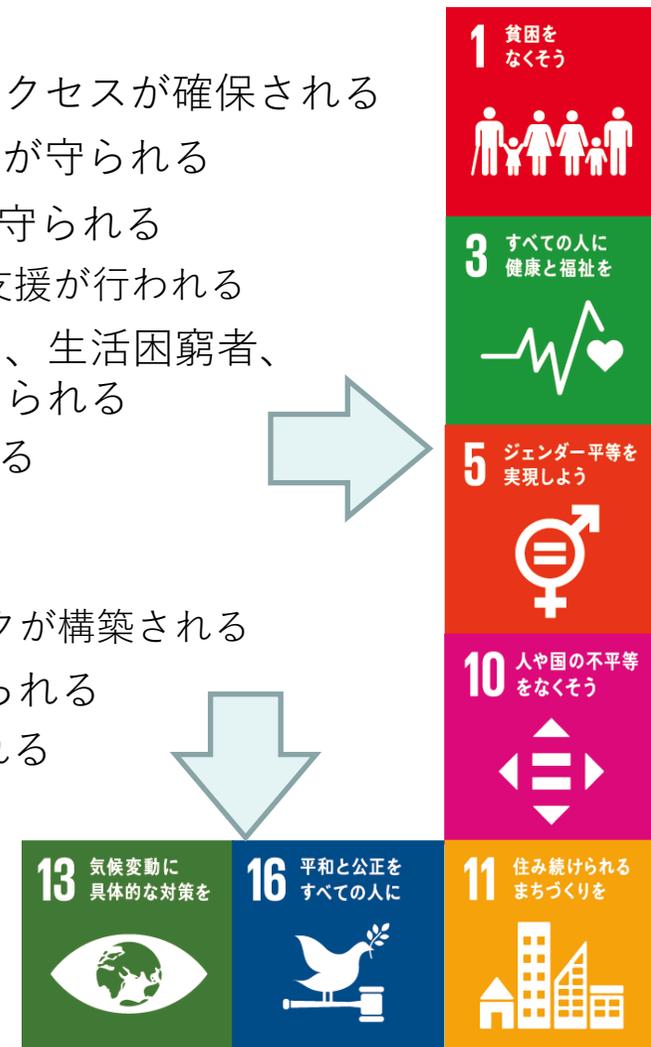
【平時の活動】

災害に備えたネットワークが構築される
NPO等の支援力が高められる
地域の受援力が高められる



スフィア基準「調整された対応」「異なる領域が参加するミーティング」

仙台防災枠組「インクルーシブ+レジリエンス」



「政府とNPO/NGOとの連携による被災者支援は、行政の支援が届き難いところに対しても支援が可能であるため、今後の災害においても適応が期待されるが、そのためには、県のNPO/NGOの受け入れ態勢を事前に定めておく必要がある」

「東日本大震災－宮城県の6か月間の災害対応とその検証－」宮城県(2012年)

「NPO・NGO等自己完結型のボランティア団体と一般のボランティアを区別し、それぞれに適した受け入れ態勢を構築していなかった。」

「一般の災害ボランティアの受入れやコーディネートは災害ボランティアセンターが行い、NPO・NGO等自己完結型のボランティア団体に対しては、県・市町村の災害対策本部に、ボランティア班などを窓口として設置し、関係課への取次ぎや団体へ情報提供」

「東日本大震災津波に係る災害対応検証報告書」岩手県(2012年)

防災基本計画 第2編 第1章 災害予防 第3節 国民の防災活動の促進

3 国民の防災活動の環境整備

(2) 防災ボランティア活動の環境整備

○国〔内閣府，消防庁，文部科学省，厚生労働省等〕及び市町村（都道府県）は，ボランティアの自主性を尊重しつつ，日本赤十字社，社会福祉協議会及び**NPO等との連携**を図るとともに，**中間支援組織**（NPO・ボランティア等の活動支援や**活動調整**を行う組織）を含めた連携体制の構築を図り，災害時において防災ボランティア活動が円滑に行われるよう，その活動環境の整備を図るものとする。

○国〔内閣府，消防庁，文部科学省，厚生労働省等〕及び市町村（都道府県）は，行政・NPO・ボランティア等の**三者で連携**し，平常時の登録，研修制度，災害時における防災ボランティア活動の受入れや調整を行う体制，防災ボランティア活動の拠点の確保，活動上の安全確保，被災者ニーズ等の情報提供方策等について意見交換を行う**情報共有会議**の整備・強化を，研修や訓練を通じて推進するものとする。

○国〔内閣府，環境省，厚生労働省等〕及び地方公共団体は，社会福祉協議会，NPO等関係機関との間で，被災家屋からの災害廃棄物，がれき，土砂の撤去等に係る連絡体制を構築するものとする。また，地方公共団体は，地域住民やNPO・ボランティア等への災害廃棄物の分別・排出方法等に係る広報・周知を進めることで，防災ボランティア活動の環境整備に努めるものとする。

【避難所】



生活環境改善



日常生活を取り戻す



医療・看護



要配慮者への支援



足湯・困りごと把握



多目的スペースの確保



炊き出し



ペット



運営・ミーティング

【こども】



プレイルーム運営



ストレス発散

【障害者】



スポーツ体験

【物資】



必要な場所に配布



倉庫設置

【仮設住宅】



見守り



集会場備品



生活必需品



家電支援

【被災家屋への技術的な支援】



行政職員、社会福祉協議会関係者、その他の支援者のための
被災家屋の対応説明会
申し込みは不要です。当日会場へお越しください。

画像引用：風組関東facebookページより

日時：7月28日(土) 19:00～
場所：西予市社会福祉協議会(野村町野村12-15)
講師：小林直樹氏(風組関東)

住民は何を不安に思っているのか
浸水家屋内の片付けは済んだが、そのあとに必要なことは何？

これからのことで、何が分かる
と不安の解消につながるのか
過去の被災地域での

問合せ：0894-72-2306(西予市社会福祉協議会)
主催：西予市社会福祉協議会、OPEN JAPAN
協力：DRT-JAPAN、災害119 ©OPEN JAPAN



災害時支援の全体像

生業仕事

- ・田畑の泥かき
- ・農業支援
- ・自立化補助金
- ・再就職支援
- ・自動車

復興支援住宅

- ・コミュニティ
- ・慰問
- ・住環境
- ・グリーンケア

仮設住宅

- ・コミュニティ
- ・買い物
- ・慰問
- ・住環境
- ・グリーンケア

避難所

- ・運営
- ・衛生
- ・介護
- ・医療
- ・清掃
- ・物資
- ・炊き出し
- ・慰問
- ・マッサージ
- ・不動産相談

被災家屋

- ・片付け
- ・泥かき
- ・清掃
- ・消毒
- ・床はがし
- ・ブルーシート
- ・写真洗浄
- ・美術品修繕
- ・家電提供

要配慮者支援

要介護、医療、障害、認知症、ペット、妊婦、子育て、LGBT etc.

在宅避難者

- ・把握調査
- ・炊き出し
- ・医療
- ・介護
- ・車
- ・自転車
- ・買い物
- ・物資
- ・手続き
- ・法律相談
- ・災害ゴミ
- ・コミュニティ
- ・住環境
- ・グリーンケア

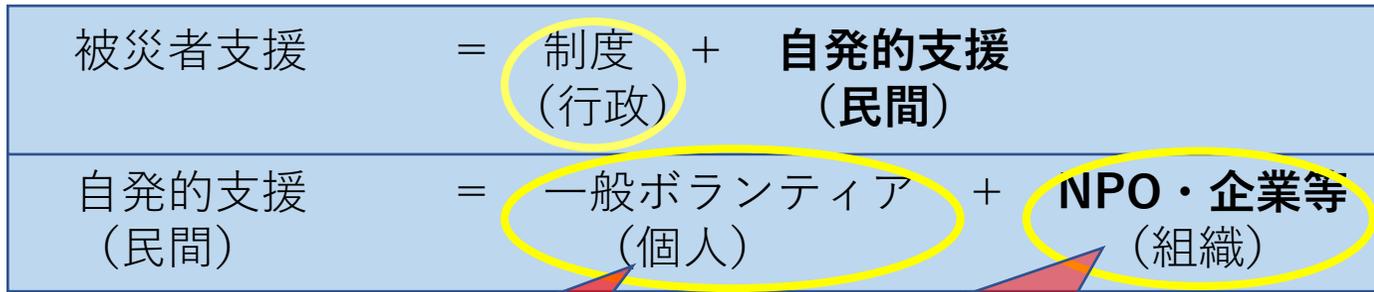
被災者支援のキーワード：「多様な支援主体の連携」、「中間支援（災害）」、「情報共有会議」



避難生活を支える



生活を再建する



地元／外部

地元／外部

災害VC

中間支援（災害支援）



被災者ニーズに対して支援のヌケ・モレのないよう
「NPO・企業等の支援のサポート」と「多様な支援支援主体間の調整」

情報共有会議

一般ボランティア・NPO等による支援事例

分野	一般ボランティア(災害VC)	NPO等
被災家屋	(ニーズ把握) 土砂出し 家財出し 片づけ・清掃	重機での土砂等 床・壁・屋根の応急措置 廃棄物の分別・回収 住宅再建の相談・講習会
避難所		アセスメント 物資、環境整備、炊出し、サロン 傾聴、ジェンダー的配慮、ペット 運営
在宅避難者		実態把握調査 物資、家電 食事
仮設住宅		引越し、物資・家電 集会場、公民館への備品 サロン、見守り支援
生業支援		農地からの土砂・廃棄物等撤去 商店街の片づけ・清掃、資機材
要配慮者		福祉施設への支援 相談支援・資金支援 こどもの居場所・学習支援、学用品など 翻訳・通訳



← 九州北部豪雨支援者情報共有会議



↑ 災害支援ひろしまネットワーク会議
(西日本豪雨)



← OSN災害時連携会議 (大阪北部地震)

令和2年7月豪雨（熊本）調整まとめ 2020年10月

・ニーズ/課題：青字 ・県内団体：太字
 ・制度/行政支援：赤字 ・県外団体：細字

分野	ニーズ/課題	支援	人吉市	球磨村	八代市	芦北町
被災 家屋	<ul style="list-style-type: none"> ・技術的支援(見立、作業範囲) ・ニーズの把握(解体に流れる) ・制度活用周知 ・解体時の分別 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物/公費解体 ・応急修理 ・堆積土砂 ・生活再建支援金 ・災害VC、有償ボラ ・技術系団体 	アーキレスキュー 熊本支援チーム 友救の会 風組関東 め組ジャパン	バルビー かわず OPEN JAPAN DRT JAPAN フードバンクかごしま	レスキューアシスト チームドラゴン チームももちゃん コミサポ広島	
避難所	<ul style="list-style-type: none"> ・長期化対策 ・2次避難所の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営 		熊本YMCA PBV		
在宅	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握、応急支援 ・支合Cへのつなぎ ・移動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・(行政の調査) ・NPO等の調査 ・VCのローラー 	Minori ダイバーシティ カーシェア	Minori	Minori ダイバーシティ カーシェア	
食・栄養	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅の栄養 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な炊き出し 		生協くまもと		
仮設	<ul style="list-style-type: none"> ・全体戸数の把握 ・生活家電 ・地域・集落繋がり 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設/みなし提供 ・集会場物資 ・生活物資 	KVOAD/県社協 グリーンコープ PBV	KVOAD/県社協 ネクストステップ グリーンコープ PBV	KVOAD/県社協 グリーンコープ PBV	KVOAD/県社協 グリーンコープ PBV BHN
生業	<ul style="list-style-type: none"> ・農地/商店街など 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地復旧、G補助 	れんげ/KVOAD			
子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・居場所づくり ・PFA ・学用品など 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設補助 ・備品、学用品 ・子ども預かり 	カタリバ	カタリバ		
障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設支援、助成 				
外国人	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語発信相談 	(熊本市国際交流会館)			
地域 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館費用負担 ・復興合意形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間支援拠点 ・対話の場づくり 	ひまわり亭 くまりば	神瀬再生委員会 (故郷復興熊本) (日添)	チームドラゴン チームももちゃん	
調整	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごと ・分野ごと 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごと共有会議 ・資金助成 	人吉球磨支援団体 連絡会議	球磨村ボランティア ミーティング	(市社協/JC)	

Operation: One NAGANO

被災者のために、市民、ボランティア、行政、自衛隊、すべての人の力を結集しよう



Operation One Nagano@長野市

市民、ボランティア、行政、自衛隊が連携し、災害ごみ集め、
たくさんの災害ごみを集中的に大量に移動させる
ボランティア参加のご協力をお願いします。
(台風19号による災害ボランティアで県内初の大規模活

【災害VCの役割】

- ・住民への周知
- ・マンパワーの募集
- ・軽トラの募集

【NPOの役割】

- ・勝手仮置き場の情報
- ・ノウハウ／アイデア
- ・資機材、車両等

出典：長野県

台風19号災害より、大量に発生した災害廃棄物を被災地域から無くすことが、緊急の課題となっています。ボランティアの皆さんの力を貸して下さい

市民、ボランティア、行政、自衛隊が一体となるこの活動を「One NAGANO(ワナガノ)」と命名

(ボランティア・NPO)

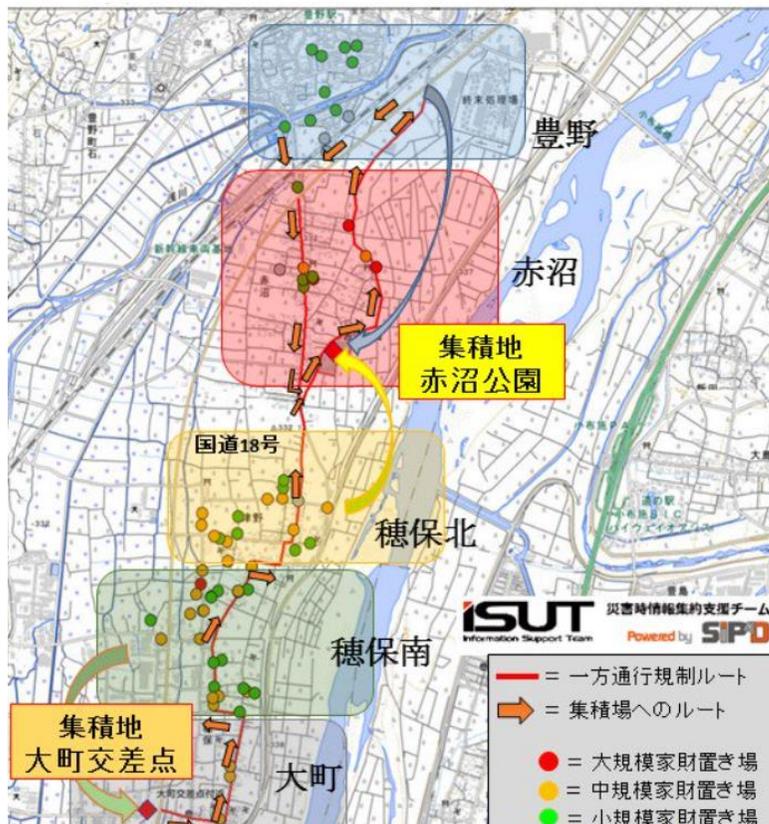
- ・災害VC打合せ
- ・情報共有会議

(国・県・市)

- ・災害対策本部会議
- ・関係省庁連絡会議
- ・廃棄物・土砂に関する

打合せ(長野県、長野市、内閣府、環境省、自衛隊、警察、県社協、NPOなど)

※NPO・社協・行政が相互に参加し、相乗効果を発揮



「One NAGANO」とは…

- ・昼間、市民、ボランティア、行政職員の力を結集し、長野市豊野地区等に点在する臨時集積所から赤沼公園&大町交差点まで移動させる
- ・夜間、自衛隊が赤沼公園&大町交差点付近に集めた災害ごみを地区外に排出します。



市民、ボランティア、行政、自衛隊の力で、被災者のために一丸となって活動しましょう！

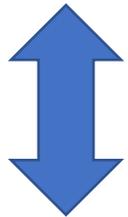
【10月22日撮影：赤沼公園】
大量の災害ごみがまだ周囲にも…



長野県では、平時からプロセスを共有してきた

【県】

- ・地域防災計画の修正
- ・広域受援計画の策定
- ・災害対策本部訓練の実施
- ・NPO等との連携研修の実施
(TBKの検討)(車中泊の検討)



【NPO、社会福祉協議会等】

- ・長野県災害時支援ネットワークの構築
- ・災害時の連携を考える長野県フォーラムの開催



災害対策本部訓練(2019年9月)



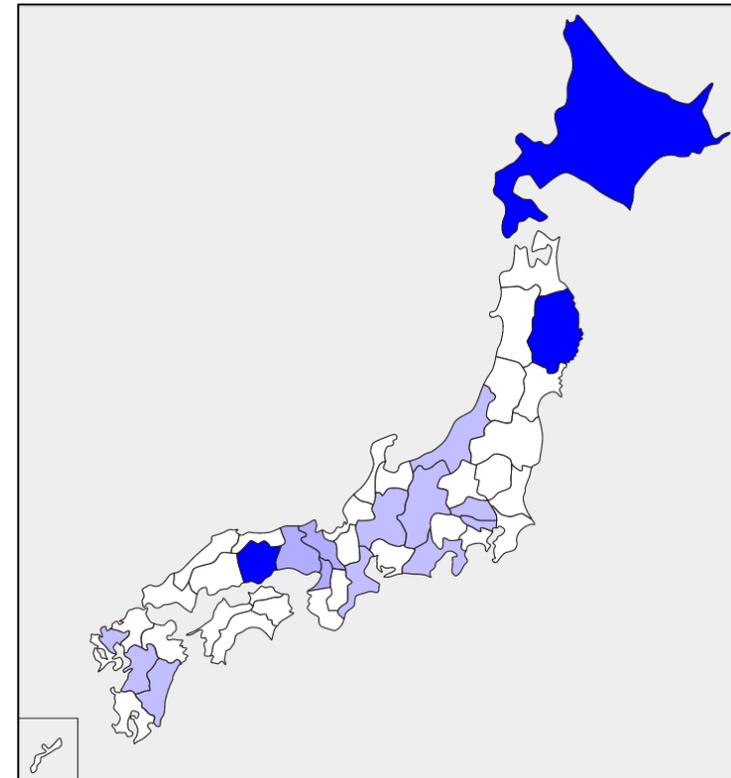
災害対策本部会議(2019年10月)



災害時の連携を考える長野県フォーラム
(2021年1月)

災害の「中間支援組織」となる都道府県域ネットワーク

- ・ **北海道**：北の国災害サポートチーム
- ・ **岩手県**：いわてNPO災害支援ネットワーク（INDS）
- ・ **埼玉県**：埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」
- ・ **東京都**：東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議
- ・ **静岡県**：南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会
- ・ **岐阜県**：岐阜県災害ボランティア連絡調整会議
- ・ **長野県**：長野県災害時支援ネットワーク
- ・ **新潟県**：新潟県災害ボランティア調整会議
- ・ **三重県**：みえ災害ボランティア支援センター
- ・ **京都府**：京都府災害VC／災害時連携NPO等ネットワーク
- ・ **大阪府**：おおさか災害支援ネットワーク
- ・ **兵庫県**：災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議
- ・ **岡山県**：災害支援ネットワークおかやま
- ・ **佐賀県**：佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）
- ・ **熊本県**：くまもと災害ボランティア団体ネットワーク（KVOAD）
- ・ **宮崎県**：宮崎県・県社協・NPO防災会議



県域ネットワーク： 薄青
※中核的ネットワーク構築事業（休眠預金）：濃青¹⁵

繰り返される課題(いつものパターン)

連携は進化してきているが・・・ 「担い手不足」、「調整力不足」・・・
仕組みになりきれていない・・・

【繰り返される被災地の課題】

- ・避難所運営に関する課題(食事、寝床など含)
- ・被災家屋(床下・壁・屋根等)に関する課題
- ・廃棄物・土砂撤去に関する課題
- ・仮設住宅期の生活支援に関する課題
- ・農業支援に関する課題
- ・子ども、障がい者、外国人等に関する課題
- ・在宅、車中泊避難者に関する課題・・・

【NPO等】

- ・エッセンシャルな存在として認識されていない
- ・市町村等から連携の対象としての認識がない
- ・一般のボランティアと混同されたまま
- ・NPOを支援する仕組み、組織基盤強化

【中間支援組織】

- ・まだまだ「作りかけ」で、レベル感も様々
- ・「活動調整」という役割・機能が不明確
- ・市町村での展開
- ・情報集約、情報共有のシステム
- ・維持／発展できる仕組み

平時から、地域ごとに協議し、対応を具体化する
「自発的な支援を活かせる仕組みづくり」の実現

特にコロナ禍では

この度の被害にあわれたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます 水害後の家屋への適切な対応

1.床下を確認する(床はがし)

床下浸水でも必ず確認することを勧めます

和室の場合

- ・畳の下にある板をはがす。
- ・板は無垢材なら洗浄して陰干しすれば再利用可能。
- ・どの部屋の何番目なのか「印」をつけてから外す。



- ・特に注意すること
- ・サッシや敷居の下に潜り込んでいる板は無理に外さない
- ・一部切断する場合は、根太の中心で切ると再利用可能
- ・根太は切らない、どうしても切る場合は、大引きの中心で切る

洋室の場合

- ・床下収納、点検口を開ける。
- ・床下に水や泥があれば除去。
- ・点検口がない場合は、工務店などで作ってもらおう。(相場は2〜3万円)



- ・特に注意すること
- ・自分で点検口をつくる際は正方形(一边60cm未満)に開ける。
- ・貼り合わせのフローリングは、長持ちしない可能性が高い。
- ・もくもく作業する場合は、換気に注意して必ず複数名で行う



施工方法



- ☆下準備
テープが付きやすいように互をまきいにする
- 【手順1】
山の部分に先に貼ると隙間が出来てしまう為、五の谷の部分(へこんでる部分)に縦にテープを貼る
- 【手順2】
防水テープをブルーシート中央から左右に風が入らないようにしっかりと貼る
- 【手順3】
縦のブルーシートの部分(まだ貼っていない側)にも、防水テープを貼る
- 【手順4】
防水テープを貼るとしわが入る為その部分に土嚢を載せる